

釈迦ヶ岳山行報告

【山行日】2023年 10月 22日(日) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 1,700円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL藤原ト

飯野、関、藤原フ

【コースタイム】栃木市運動公園P6:00=大間々台

P7:10/7:25~八海山神社山 8:25/8:30~剣ヶ峰

9:00~釈迦ヶ岳 10:40/11:00~八海山神社

12:40/13:15~大間々P14:05/14:15=道の駅「や

いた」14:45/15:00=栃木市運動公園P17:00



釈迦ヶ岳のリクエストがあり、紅葉に時季に併せて計画した。大間々台の駐車場に到着後、準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。見晴コースへの林道を歩き始めて直ぐに、我輩の足に激痛が走った。18日の水ノ塔山・箆ノ登山で痛めた足が、治ったと思っていたが一層ひどくなっていた。山頂まで登るのは無理なので、SL に皆さんをお願いし我輩は八海山神社まで登り、皆さんを待つことにした。私たち4名は CL と分かれ、SL のリードで釈迦ヶ岳に向かって登って行く。10月下旬とあって、空気がひんやりとしており歩くのに最適な気候である。周囲の木々はかなり落葉しており、落ち葉を踏みしめ歩いて行くと段々登りが急になってくる。岩交じりの道を登ると展望が開けた所にたどり着く。空気が澄み渡り周辺の山巒もくっきりと見える。遠くに富士山の姿も確認でき、眺めに感嘆する。目をこらすと、新宿のビル群がうっすらと見え驚嘆する。さらに岩の急坂を登って

行くと、八海山神社のピークに着く。西側にはこれから登る釈迦ヶ岳が望める。ここで一休みし、「八海山」と刻まれた木片を持ち記念撮影したが、これが霜で凍り付いていて文字が読めない。少し休憩を取りお菓子を食べ、釈迦ヶ岳に向かう。一旦下って登り返すと矢板市最高峰のピークで、さらに下って登り返すと剣ヶ峰のピークに着く。水分補給後、すぐさま釈迦ヶ岳へと急坂を下って行く。すっかり葉を落とした真っ白なダケカンバの樹木、ナナカマドの赤い実が澄み渡る青空に映える。この時季ならではの景色を堪能しながら進む。アップダウンを繰り返し右側が切れたヤセ尾根を進んでいく。



この辺りから昨日の雪がうっすらと道に残り、霜柱も見え隠れしてくる。さらに、樹氷と思われる細長い氷が道に落ちている。滑らないようにロープがある急登を慎重に登って行く。いくつかのロープを使



って登り切ると傾斜が緩くなり、間もなく山頂に着いた。空気がひんやりしているためか、汗をかくこともなく、気分良く登頂できた。山頂は平坦で広く360度の眺望を楽しめる。遠くに雪を頂いている山も臨むことができた。山頂で記念写真を撮り、お菓子を食べて休憩を取る。日差しも出ておりとても暖かい。登頂出来た喜びで会話も弾む。リーダーを待たせているので、名残惜しいが、往路を戻って八海山神社を目指す。急な下りは雪や氷も残っており、滑りやす

いのでロープや木の根を頼りに慎重に下って行く八海山神社まで戻り、リーダーと合流してランチタイムとなる。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパン、リンゴ、お惣菜を美味しくいただいた。太陽が雲に隠れるとさすがに寒くなり、早速下山することにする。上ってきた道を下って行くと、右側に紅葉した山々や里の景色を臨むことができる。晩秋の景色を楽しみながら下り、無事に大間々台駐車場に戻った。靴を履き替え車に乗り帰路につく。道の駅「やいた」で野菜を購入しようとしたが売り切



れていて残念だった。上河内 SA 付近での交通事故のため渋滞に巻き込まれたがほぼ予定通り栃木市運動公園へ到着した。天気にも恵まれ、晩秋の冴えた空気の中、景色を堪能し会話が弾み、和気あいあいと楽しい山行となった。体長が思わしくないのにも関わらず、連れて行っていただき、リーダーには深く感謝しています。

飯野 記